

『いのちを大切に、進んで学ぶ、素直でたくましい子どもの育成』



NO 12

令和6年1月9日

文責：喜多三郎

# 島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

## ○ 第3学期スタート

新年、明けましておめでとうございます。正月三が日、3日は雨でしたが、好天に恵まれ、皆様よい年を迎えられたことと思います。2024年も皆様にとりまして、よい年となりますようお祈りいたします。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。



さて、学校では、今日から3学期がスタートしました。朝から子どもたちは久しぶりに、身支度を整え、ランドセルを背負い、3学期の学習用具を手を持ち、寒い中を仲間と共に、たくましく登校してきました。明るい表情であいさつを交わし、新しい年・新学期に期待と希望を膨らませています。教室へ入り、しばらくぶりの友だちとの談笑をしながら、担任の先生からの黒板のあいさつや励ましのメッセージに目をやりうれしそうです。学校に子どもたちの歓声が戻ってきました。3学期も、何気ない日常の風景や当たり前のことが当たり前前にできることに感謝しながら、教育活動を推進してまいります。子どもたち一人ひとりを大切に、誰一人として取り残すことなく全児童が成長できるよう指導・支援してまいります。『ふるさと安中大好き！ 笑顔いっぱい、ひとみ輝く島五小』の構築を目指して、全職員一丸となって取り組んでまいります。3学期も引き続き、保護者・地域の皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## ○ 3学期も学んでみがく

これまでも学校生活のキーワードとして、「学んでみがく」と子どもたちに話をしてきました。3学期もまた、いろいろな行事や毎日の学習をとおして、心も頭も体も、学んで自分自身をみがいてほしいと思います。もう一つのキーワードとして、「考えて行動する」をいつも意識するよう話をしていきます。人が見ていようが見ていまいが、自分自身、自らがよい行いをするように願っています。背後にそびえ立つ眉山や普賢岳が、常に見守ってくださっていることに感謝するとともに、家庭や地域の期待に応えるべく誇り高さ安中っ子の育成に尽力していくことを新年の抱負といたしました。「みがく」ということは、原石をみがくなどと輝かせるや成長させるなどの意味ももちろん含みますが、きれいなものを油断せずにさらにもっときれいにするということがあります。歯みがきもしかりであります。油断すると、すぐにむし歯になります。トイレの便器みがきもそうです。トイレの便器は、最初きれいです。(五小の便器はいつもきれいです。古くてそうでないところもありますが)きれいだからといって、みがくことを怠けると少しずつ黄色くなります。そして汚れてきます。その汚れをきれいにするには、そうとうみがかなければなりません。きれいなうちから日々みがき続ければ、きれいなままです。1・2学期、子どもたちは自分の目標に向かってがんばり通し、みがき続けています。続けることは、とても難しいことです。とても立派なことです。3学期も子どもたちが毎日、学んでみがき続けることを期待します。歩みを止めてはいけません。卒業や進級へと向かう子どもたちへの、さらなるお力添えや励ましをお願いします。

あけまして  
おめでとうございます



### ○3学期も学んで自分をみがく

(始業式校長講話抜粋)

さて、3学期は2学期と違って学校に来る日が1年で1番短い学期です。時間が経つのが特にはやい学期です。1日1日を大切に過ごさなければ、何もできないままあっという間に、卒業式や修了式を迎えることとなります。『いのちを大切にする』『自分を磨く』『あいさつをしよう』は、3学期も続けてしっかり取り組んでください。キーワードは二つです。「3学期も学んで自分をみがく」と「考えて行動する」です。

3学期を充実した実りの多い学期にするために、全校のみなさんに2つのことを話したいと思います。

まず1つ目は、3学期に頑張りたいことやこれだけはやり遂げたいと思うこと、つまりめあてや目標をきちんと決めた上で、学校生活をスタートさせるということです。<1年の計は元旦にあり>ということわががあります。<はじめが肝心>という言葉もあります。

学校は今日が元旦です。2学期の反省を生かして、自分が3学期に頑張りたいことは何なのか、何を頑張れば良いかを明確にして、そのためには、どんなことに取り組み、どのような努力をすれば良いのかを考えたいので、3学期のスタートを切ってほしいと思います。

2つ目は、今年は今年こそは、自分のやりたいことを見つけて、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。勉強でも、運動でも、遊びでも、何でもいいです。自分の好きなことや、やれそうなことに対して、思い切って挑戦してほしいと思います。

失敗しても構いません。チャレンジせずに逃げるよりも、チャレンジをして失敗する方がはるかに価値があります。3学期はぜひ、今の自分にしかできないようなことに進んで挑戦し、自分ができることを1つでも多く発見する学期にしてほしいと思います。

最後に、コロナウィルスやインフルエンザ等の感染症には、まだまだ油断してはいけません。3学期も、感染予防を徹底しなければなりません。

適切なマスクの着用、手洗い、うがい、距離をとるなど、教室の換気等も心がけ、五小のみんなが安心して元気に生活できるようにしていきましょう。それでは、3学期も『ふるさと安中大好き！そして、笑顔いっぱいひとみ輝く島五小』、楽しい学校をみんなで力を合わせてつくっていきましょう。

### ○ お詫びと訂正

年末の学校だより第11号にて掲載した「令和5年度読書感想文コンクール」分間違いと追加分がありましたので、再度、掲載いたします。

#### 【令和5年度 読書感想文コンクール】

〈佳作〉	3年	宇土希優 さん
〈特選〉	2年	長谷川望海 さん
	3年	本村瑞季 さん
	4年	辻村美龍 さん
	6年	辰田真桜 さん
〈入選〉	2年	下田權聖 さん
	2年	立光雪愛 さん
	2年	立光玄青 さん
	2年	松本彩花 さん
	3年	園田帆乃香 さん
	3年	野呂清隆 さん
	4年	諸田結衣 さん
	5年	古瀬統一郎 さん
5年	伊藤 凜 さん	

#### 【第5回全国子ども防災作文コンクール】

〈最優秀賞〉 6年 柴田怜奈 さん

〈優秀学校賞〉 島原市立第五小学校

本校において、雲仙普賢岳災害から学んだ『命・きずな・感謝の心』を教育の根幹に据え、生活科や総合的な学習を中心に防災教育を行っています。今回の賞を励みに、今後とも、防災教育をとoshした「ふるさと教育」の充実に努めてまいります。本年も、どうぞよろしく願いいたします。